

実際の校外学習での様子

○展示見学



職員の解説を聞き、メモを取る、また、各時代の土器を観察してスケッチするなどの活動ができます。



2階には縄文土器の展示コーナーがあるほか、出土品の整理作業の様子をガラス越しに見ることができ、埋蔵文化財にかかわる人たちの業務の一端を間近で見ることができます。



○土器に触れてみよう



実際の遺跡から出土した、それぞれの時代の土器の破片を手にとって、感触や模様などの特徴を体感します。

また完形土器を見せながらそれぞれの特徴などについて解説します。

縄文時代の土器はどれか？
弥生時代の土器とどんな違いがあるか？など問いかけながら解説します。



○石器体験

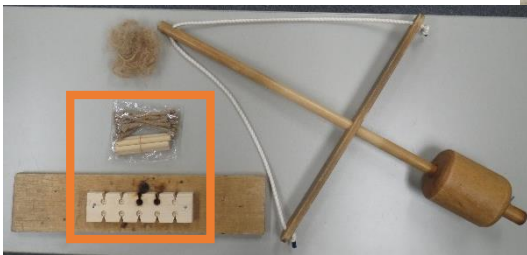


黒曜石の石核、重たいです！鹿の角などで割って、成形していたようです。



ニンジン、軍手、新聞紙を持参し、黒曜石でニンジンを切ってみることで、いにしへの道具の使用を体感できます。また、黒曜石の特徴や流通などについて解説します。

○火起こし体験



学校負担材料（550円/1セット）

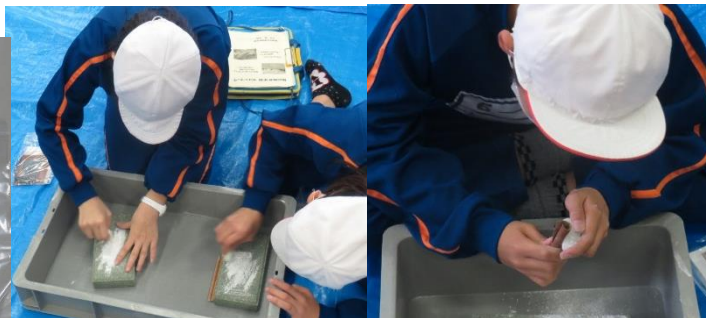


4人1組でマイギリを使って火を起こします。火が着いた時の感動は大きく、子どもたちに最も人気のある体験のようです。（「お昼休みもやりたい！」という子も、多くいました）



マイギリが成功したグループは、難易度が高い「モミギリ式」や火打石の体験にも挑戦できます。実際に遺跡から出土した道具を提示し、当時の火の重要性などについての解説も行います。

○勾玉づくり体験



滑石を削って勾玉を作ります。

作った勾玉はお持ち帰りいただけます。当時は装飾品であったように、今もアクセサリとして使えます。

●古津八幡山遺跡 歴史の広場



●地層見学の様子

